

初日から3横綱を撃破して大いに注目を浴びた小結鹿富士。「2度の優勝を抱かせるか？」との期待を抱かされたが、大神楽、千代鈴の両大関に負けて5勝2敗となった。しかし、勝ち越しまであと1勝とし、勝ち越せば殊勲賞は確実。しかし、2敗は優勝圏内だけにまだまだ目が離せない。



鹿富士○(寄り切り) ●魁 電

今場所も残り4日といよいよ大詰めとなったが、現時点で誰が優勝するのかまったくわからない状況。当然ながら、優勝争いを演じる力士同士の間接対決も組まれることが予想され、その勝敗如何によって賜杯の行方もみえてくることだろう。(錦風)

十両は磯自慢が全勝キープ

七日目までを終えて磯自慢がただ一人全勝を守り、1敗で龍不動と西の富士の2力士が続く展開となった。五日目を終った時点で磯自慢が唯一の勝ちっぱなし。四日目まで同じく全勝だった夢ノ花が五日目に渡海ののど輪攻めに敗れ、もう一人の真田丸も磯自慢に屈し一歩後退となった。



磯自慢○(押し倒し) ●真田丸

幕下には上がってから別人と化した磯自慢の勢いは十両になっても衰えず、このままの調子で行けば優勝まで手にしそうな感じだ。中日に勝ち越しをかけて夢ノ花との一番で、立ち合いから左を差されが不利な体勢になった。凌ぎ最後は寄り切る粘りの相撲を見せた。翌七日目は場所の決まり手で4勝を下げて無傷の7連勝で首位をキープした。



夢ノ花●(寄り切り) ○磯自慢

龍不動は十両に陥落してどうなるかと思われ、ここまでは堂々と優勝争いに加わっている。こちらも磯自慢と同じく連日ののど輪攻めが功を奏し、波に乗って来たようだ。七日目の勝ノ川戦では、左を差される前に速攻でのど輪を炸裂させ勝ち越しを決めた。これで一場場での幕内復帰も濃厚として、後は優勝に向けて邁進するのみである。



龍不動○(押し倒し) ●勝ノ川

残り4日を残りし優勝争いは2敗までと絞られてきたと見るが、その2敗勢で追う一番手は東筆頭の宇治家だろう。五日目西勢ノ里に敗れ2敗目を喫したが、六歌仙と渡海を下して踏みとどまった。まだ入幕を果していない兄弟子の葵盛を追い越して先に幕内昇進となるのか当確まであと白星は一つだ。

他の2敗勢は真田丸と桃乃洲。友砂親方が密かに期待を寄せている真田丸は、磯自慢と同様に幕下ではパツパツしなかったが、意外と十両で花開くタイプかも知れない。再十両の桃乃洲は現在桃山部屋ただ一人の関取。先々場所幕下には陥落した時にもう復帰は厳しいかと思われが今場所十両に再び咲き七日目を終わって5勝2敗とし、桃山親方もまずは一安心といった心境か。(勝間田)

朝日松理事長奥の細道

七日目を終えた朝日松理事長は東北に旅立ち、秋田親方と鴨川親方と懇親の一献をかわした。初めて会う秋田親方、久々の再会の鴨川親方と紙相談議に花が咲いた。理事長の地方親方訪問は今回が初めて。稽古力士を稽古力士に紙相撲の極意を伝承する旅は続けたいと熱く語る理事長であった。



幕下は磯海勢が占領

幕下は三日目を終わって茅ヶ崎、島内、磯若、千丈岳の4人が3連勝とした。このうち、島内を除いた3力士が磯ノ海勢。まずは最初に千丈岳が前日天我を破り、三日目に2連勝。同日で西旭を寄り切る。同じく新幕下の鹿ノ郷を下し、三日目は紙界最小兵の藤丸を上手から絶妙な押し倒しを決めた。

これで千丈岳と磯若が3連勝となったこと。磯ノ海の力士が全部割がら組むと相星の部割が組めなくなるんだよな」と危ぶむ鹿賀乃親方。そしてその心配を背に茅ヶ崎が三日目に東灘と対戦。東灘としても、勝ち越せば新十両のチャンスが出てくるだけに大事な一番となる。しかし茅ヶ崎が差し手争いから左を差し勝って寄り切りで勝ちを取った。

そして、磯ノ丸が勝てば4人全員が磯ノ海勢となる島内との一番。「島内、お前だけでも勝ってくれ」と親方衆の期待に応える形で、左差しから寄り切りで破って辛うじて磯ノ海部屋の4強独占を阻止した。(勝間田)



千丈岳○(寄り切り) ●西 旭



東 灘●(寄り切り) ○茅ヶ崎



磯日丸●(寄り切り) ○島 内

自己最高位となる三枚目の赤安は三日目に勝1敗。鴨川部屋から126回の雷ノ花(犬雷)、犬ノ心以来の幕下昇進まであと1番だ。また先場所幕下尻で優勝した、二枚目まで番付を上げた富士の海も2勝1敗と好調。140回以上の幕下復帰を狙う。

秋田部屋から初の三段目力士となる難波山は初日、二日目と勝間田、桐壺の力士を連勝したが、三日目春日根部屋の他力岳に苦杯。先場所千秋楽には同部の自力岳に敗れた。二段優勝を逃しただけに春日根勢は鬼門なのか。

序二段は玉乱、音柱、繁元、小川が3連勝。三段目の猿飛、他力岳に続き、序二段でも玉乱、音柱が負け知らずと春日根勢が暴れまわっている。

そんな中、小川は鴨川部屋久々の新弟子で、朝日松理事長が東北行脚するのに合わせて送り込んできた力士。予想を超える活躍に鴨川親方も理事長との再会に胸を張って臨めるだろう。

序の口の3連勝は桜庭、里の若、玉昇龍。中でも玉昇龍は佐戸若部屋初の勝ち越し力士。しかも初日から3連勝と、協会関係者を喜ばせている。この勢いで序の口優勝となるか。(鹿賀戸)



赤 安●(引き落し) ○徳 皇



他力岳○(押し倒し) ●難波山



大 滝●(押し倒し) ○小 川



黒 槍●(押し倒し) ○玉昇龍